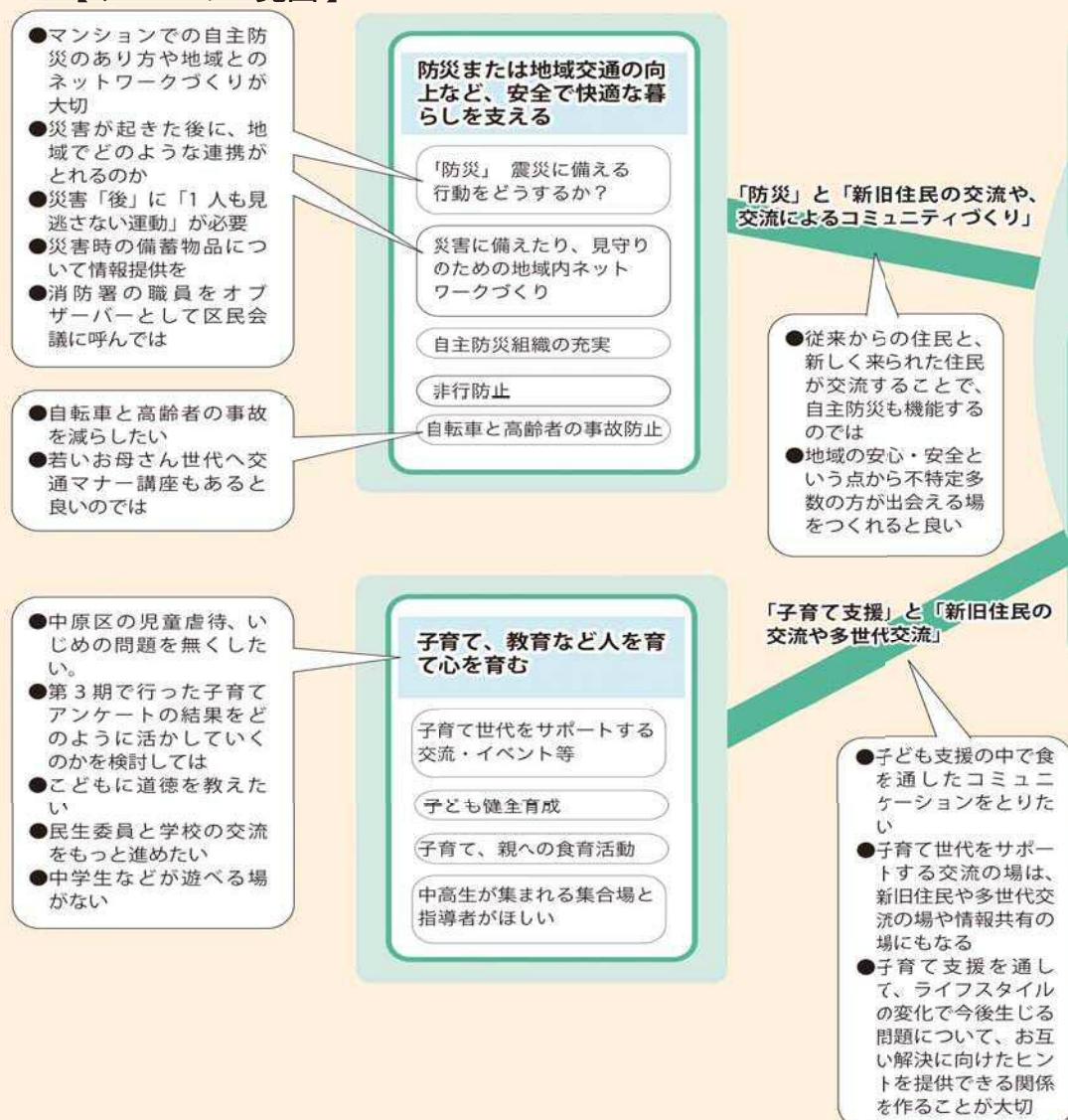


2 各委員の意見と検討テーマの決定

委員から出された意見について、関連のあるテーマや意見を整理し、第1回運営部会で意見交換をしました。

「防災」、「子育て支援」、「文化、伝統、歴史などの中原区の魅力発信」の3つについては、「新旧住民の交流や、多世代交流によるコミュニティづくり」と関連し合うテーマの意見も出されており、人口が増加している中原区において大切なテーマであるとの話が出されました。

【テーマの一覧図】



【検討テーマの案】

- | | | |
|---------------------------------|---|-----------------|
| ① 「防災」 | + | 「新旧住民の交流や多世代交流」 |
| ② 「子育て支援」 | + | 「新旧住民の交流や多世代交流」 |
| ③ 「文化、伝統、歴史など
中原区の魅力発信と活力向上」 | + | 「新旧住民の交流や多世代交流」 |

普遍的に大切なテーマ

「新旧住民の交流」というテーマは、
人口が増加している中原区において、
特に大切なテーマ

地域住民組織の活動、 まちづくり活動などの市民自治の推進

- 新旧住民の交流
- 交流コミュニティづくり

福祉の推進、健康の推進など 幸せな暮らしを支える

- 多世代地域交流の場
- 縁側のようなたまり場づくり
- 高齢者の問題
- 食を通しての健康づくり

- 交流は継続的に行う視点が必要
- 外国籍の方も含めた住みやすい地域づくりを
- 集合住宅に住む方に、町会への不満などを具体的に調査しては

緑の保全、ごみの抑制など 自然環境または生活環境の向上

- 緑地の保全
- ゴミ→再生がどうなっている?

文化または観光の振興など、まちの魅力の発信

- 古道中原街道の復活
- 区の文化・歴史の発展

まちの活力向上

- 個人商店、商店街を元気に
- 地域の活性化
- 区民会議の委員の所属する団体を通じ地域を活性化したい

その他

- 区民会議のPR

「文化、伝統、歴史など 中原区の魅力発信」と 「新旧住民の交流」

- 文化、伝統、歴史など新しい住民に地域の誇りを知つてもらう交流ができるなら良い
- 交流の場で中原区の魅力や、地域の有意義な情報を伝えられるのでは

- 街道が区名になっているのは中原だけ。お金をかけずできる残し方を
- 文化協会で、伝統文化と楽しい文化の継承をしている

- 商店街を元気にする視点も大切

1 検討テーマ1 絆を深めて支え合う防災体制づくり

(1) 審議内容

委員から出された意見の一部を紹介します。

防災情報の発信について

- 区役所1階に防災情報コーナーを設けて、区ホームページ上に集約しては。

防災イベントの開催

- 災害時に地域での活動を担える人材を発掘するため、イベントを開催してはどうか。
- 内容は、災害図上訓練（DIG）や講座などが効果的では。
- 区民会議委員がそれぞれ所属している団体等のメンバーを出し合い、その人たちで交流を深めることが必要ではないか。

災害時に必要な情報を記すリーフレットなどの作成について

- 既存のリーフレットに備蓄品の有効期限も記録する。
- 災害用の携帯カードについては、新しいものを作るのでなく、今まであるものに情報を追加するようにするべきではないか。



防災情報コーナー

大型マンションの自主防災組織結成について

- 小杉駅近隣のマンションでも自主防災組織が無いところがある。可能であれば100戸以上のマンションには自主防災組織を結成してもらうようメッセージを発したい。
- 100戸以上のマンションに対する自主防災の意向調査は是非やっていただきたい。

自主防災組織の活動内容について

- 自主防災組織の先進的な活動を紹介することで、区内全域の自主防災組織に広がれば良いのではないか。
- 事例を紹介することで、気づきが生まれたり取組の弱いところを刺激できるのでは。

防災意識の向上について

- 今現在、中学校の授業で災害図上訓練（DIG）を実施しているのであれば、この授業の前後の時間を使って、地域と連携できる取組を提案していくべきではないか。
- 子育て講演会で防災についての講演会を行いたい。
- 第3期で行った防災紙芝居にまた取り組んだらどうか。

※本会議、各部会等で出された意見の一部です

(2) 現状の取組

絆を深めて支え合う防災体制づくりを検討するにあたって、身近な防災対策や活発に活動している事例を把握しました。

■ 中原区の取組

<「備える。かわさき」などの配布>

各個人、家庭での防災対策や日頃の備えなどを掲載した『備える。かわさき』を配布しています。



区役所などで配布中

<自主防災組織の支援>

自主防災組織の訓練等活動に対して助成金制度などにより支援を行っています。

<中原区地域防災計画の改定>

東日本大震災を受けて、市が各種防災関係計画の見直しを行ったことに伴い、中原区地域防災計画も見直しを行いました。

■ 地域の自主防災組織の取組

<ザ・コスギタワー>

ザ・コスギタワーでは、自分たちで勉強しながら1年がかりで防災マニュアルを作りそのダイジェスト版を配布しています。また、ザ・コスギタワー内をブロックに分けて、災害時の初期の安否確認訓練をしたり、知り合いを増やし交流するフロア交流会などを行っています。

塙本委員がザ・コスギタワーの事例を紹介しました



<井田協友会>

井田協友会では、マンション住民と連携する工夫として、防災訓練を共同で行ったり、マンション住民から自主防災組織の役員も出してもらう、などの取組をしています。また、災害時要援護者の情報を民生委員やマンション管理人などで共有するなどの取組も行っています。

■ 中学校での DIG

中原区内の中学校では、中原消防署と「DIG」Disaster (災害)、Imagination (想像力)、Game (ゲーム) を開催しています。グループに分かれ、大きな白地図を囲みながら、地域の特徴や、地震で起こりそうな被害を想定して、地図に書き加え、それに対しての対応や対策を話し合っていく訓練です。



中学校での DIG の様子